

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	ドクリツギョウセイホウジンコクリツビョウインキコウトウキョウイリョウセンター
		独立行政法人国立病院機構東京医療センター
所在地		東京都目黒区東が丘 2-5-1
管理者氏名		院長 新木 一弘
承認年月日		平成 22 年 8 月 25 日
業務報告書提出日		令和 5 年 10 月 3 日

II 業務報告

対象期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
------	--------------------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率 80% 以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	101.9 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	16,239 人
	②初診患者数	22,011 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	4,052 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	1,980 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	38 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	153.5 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	24,466 人

2 共同利用の実績

共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	247 件
共同利用病床数	640 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用施設・設備	機器：CT、MRI、PET/CT、胃カメラ、心臓超音波検査、脳波検査、核医学検査、筋電図検査等
登録医療機関数	1,204

3 救急医療の提供の実績 【(1)又は(2)のどちらかを選択すること】

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	6,342 (4,473)
救急搬送以外の救急患者数	5,123 (2,961)
合計 (うち初診患者数)	11,465 (7,434)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	人
B:救急医療圏(2次医療圏)人口※	人
C:A/B×1000>2	(少数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口(該当2次医療圏における区市町村人口の総和)を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	地域医療従事者、登録医等を対象に、プライマリケアや最近のトピックスを組み込み、各医師の研修の場として開催している	
地域の医療従事者への実施回数		15回
合計研修者数 ※院外からの延べ参加人数		807人
研修体制	研修プログラムの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	研修委員会の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	研修指導者数	10人
研修施設	大会議室、病棟会議室、地域医療研修センター、多目的会議室	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長	
管理担当者	企画課長	
診療に関する諸記録の保管場所		病院情報システムサーバー室及び診療記録管理室
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	診療記録管理室
	地域医療従事者向け研修の実績	事務部管理課、地域医療連携室
	閲覧実績	事務部企画課
	紹介患者に対する関係帳簿	地域医療連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長		
閲覧担当者	診療情報管理士		
閲覧に応じる場所	診療記録管理室		
前年度の総閲覧件数			43 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	15 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		28 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	1 回
委員会の概要	令和5年3月2日(木) 東京医療センターのトピックス、東京医療センターの医療提供等実績報告、地域のニーズに応じた地域医療支援病院のあり方等について、報告・討議を行っている。

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口、相談室、その他(病棟)
主たる相談対応者	ソーシャルワーカー10名、退院支援看護師6名、医師1名
相談件数	57,202 件
相談の概要	受診援助、入院援助、退院援助、療養援助、経済問題、就労問題、住宅問題、教育問題、家族問題、日常問題、心理情緒、人権擁護などの問題に関し、面談・電話による相談、連絡調整、カンファレンスの実施など。

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
評価を行った機関名、評価を受けた時期	財団法人日本医療機能評価機構、令和2年6月

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
情報発信の方法、内容等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療従事者や登録医に対して、ホームページ掲載や郵送等により、研修開催の案内や病院広報誌、診療科案内等を発信している。 ・地域で暮らし介護が必要になっても自宅で生活できるよう、区民や病院利用者向けの看護教室の開催。ポスターを区報へ掲示及び郵送している。

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
退院調整部門の有無概要	退院調整部門にはソーシャルワーカー、退院調整看護師が配置されており、転院調整、自宅でも高度な医療を継続される患者と在宅医療、訪問看護などの橋渡しや地域との連携を行っている。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・大腿骨頸部骨折地域連携パス、東京都がん診療連携パス、東京都脳卒中地域連携パス ・大腿骨頸部骨折地域連携パス情報交換会を年3回開催、連携機関とパス推進について意見交換を行っている。